令和８年度　西日本図書館学会 学会セミナー　第８回「西日本の図書館と図書館人」

学校法人 佐賀龍谷学園
九州龍谷短期大学

CIE図書館フォーラム

アメリカから来た図書館を考える

～九州における CIE 図書館の展開と継承～

●開催日時

令和8年 **10/3**（土） 13:00～17:10

占領期、GHQ/SCAP の CIE（民間情報教育局）は、1945 年に東京で CIE 図書館を開設し、その後に福岡、長崎、熊本、北九州と全国で 23 館を開館させた。これらの図書館は、利用無料、貸出、開架方式、相互貸借など、当時の日本にアメリカ式の図書館サービスを持ち込んだ。一方、各都道府県を統治していた軍政部も日本人向け読書室を設置したが、1949 年末までに廃止または CIE 図書館などへ吸収された。占領期には両者が併存したのである。その後に日本が主権を回復すると、CIE 図書館は ACC（アメリカ文化センター）、さらに一部は JACC（日米文化センター）へと改組され、洋書中心の図書館として継承されていった。

本フォーラムは、九州を対象に占領期から主権回復後にかけてのこれらの図書館の実態と変遷を明らかにするとともに、その設置意図と果たした役割について検討するものである。

Forum Program

13:00 **開催挨拶** 遠山 潤（西日本図書館学会会長）
司会進行：川戸理恵子（鹿児島女子短期大学）

13:10 **発 表 1** **九州における CIE 図書館と軍政部読書室**
岩瀬 彰利（九州龍谷短期大学）

13:50 **発 表 2** **CIE 図書館からアメリカ文化センターへ**
長崎の事例から見る変わったこと、変わらなかったこと
長谷川 栄人（西日本図書館学会長崎県支部）

14:30 **休憩**

14:40 **発 表 3** **日米文化センター（JACC）の果たした役割**
奄美日米文化会館（奄美 JACC）関係史料の分析をもとに
工藤 邦彦（別府大学）

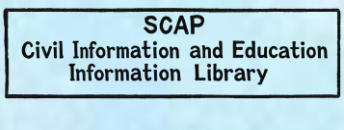
15:20 **発 表 4** **佐賀分館の資料から軍政部読書室、CIE、ACC の資料の組織化**
工藤 彩（久留米大学御井図書館）

16:00 **休憩**

16:10 **討　論** **アメリカから来た図書館を考える**
～九州における CIE 図書館の展開と継承～
パネリスト：岩瀬・長谷川・工藤邦・工藤彩　進行：川戸

17:10 **閉　会**

18:30 **懇親・情報交換会**



福岡CIE図書館（福岡市）

長崎CIE図書館（長崎市）

熊本CIE図書館（熊本市）

資料展
福岡 CIE 図書館佐賀分館
同日：9:00～12:00開催
会場：九州龍谷短期大学図書館

●主　催　西日本図書館学会
　共　催　九州龍谷短期大学図書館・九州龍谷学会

●会　場　**九州龍谷短期大学**　4階：403 教室（オンライン視聴可）
〒841-0072　佐賀県鳥栖市村田町岩井 1350　TEL：0942-85-1121（代）

※フォーラム・資料展は、どなたでもご参加いただけます（会員・非会員ともに無料、懇親会は 5000 円程度）
参加お申込みは申込フォーム（https://forms.gle/49YeRzfY7qvLq1tH8）から➡
【申込締切】9月 28 日（月）

参加お申込み・お問い合わせ先　西日本図書館学会事務局　E-mail ： info@nishito.info